

札幌発

くまさんの アウトドア日誌

ふるや ゆういち



文芸社

『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るよう設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

読み方いろいろ

- 通常は画面の「倍率」が100%前後になっていますが、「倍率」を150%まで高めると文字が読みやすい大きさになります。
- 通常は「見開きページ」で設定されていますが、「単一ページ」にすると読みやすく感じます。
- 読み進めるときは、「十字キー」を使用すると手軽です。
- 「サムネイル機能」を使用して読み進めると、2～3頁からとばし読みするのに便利です。
- 頁を「回転」させることが可能です。地図などを拡大して見るときに便利です。

http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。

札幌発

くまさんの アウトドア日誌

ふるや ゆういち



文芸社

カバー・本文イラスト／中尾純子

☆春のプログラム☆

3月 * 芽吹きはもうすぐ

★犯人はおまえだ★ 12

★ふしぎ館へようこそ★ 18

★レスキュー隊出動★ 22

4月 * ついに春が来た！

★木を植えよう★ 25

5月 * ハイキング本番

★ぼくらの森★ 28

★タケノコ採り★ 32

☆☆☆春のプログラムのまとめ 36

☆夏のプログラム☆

6月 * キャンプイン

★ふしぎの森の探検隊★ 38

★ワープ古代へ★ 52

7月 * メインシーズンに突入だ！

★カブ山の夜★ 65

★ミラクルコスモわく惑星探検隊★

★円山UFO伝説★ 75

8月 * 風になれるぞ！

★自転車免許証をゲット★ 78

★ゲーム、ゲーム、ゲーム★ 82

☆☆☆夏のプログラムのまとめ 86



☆秋のプログラム☆

9月 * 空がどんどん高くなる

★ 目標を探せ! ★ 88

10月 * 深まりゆく秋を探検中

★ 羊ヶ丘へGO! ★ 91

★ タウン・ウォッチング ★ 94

★ 上流をめざせ ★ 96

11月 * 冬の足音が近づいてきた

★ 迷コック誕生 ★ 98

☆☆☆ 秋のプログラムのまとめ 100



☆冬のプログラム☆

12月 * 大好き、冬將軍

★ スケート選手になろう ★ 102

1月 * 雪、雪、雪の季節

★ 文字のナゾを解け ★ 104

★ 雪山のひみつスキーリフト事件 ★ 106

2月 * 北風は友たち

★ かまくらとかんじきラリー ★ 108

★ S-1レーサー ★ 114

☆☆☆ 冬のプログラムのまとめ 116





北の国からの便り

— プログラム実践の中から

- ◎ 北国の春は遅い 118
- ◎ 植物を身近に感じる季節 120
- ◎ ハイキングには最高 123
- ◎ 楽しくておいしい山の幸 126
- ◎ キャンプが一番の楽しみ 129
- ◎ 古代人になったつもり 131
- ◎ 古代人は狩りもしなくては 134



- ◎ いよいよテントで眠る日がきた 136
- ◎ ネーミングに楽しさのひけつがある 139
- ◎ 北海道の夏はサイクリング 143
- ◎ ゲームいろいろ 144
- ◎ オリエンテーリング・ゲーム 146
- ◎ 北国の冬ならではの遊び方 150
- ◎ 安全管理と救急処理 153
- ◎ アウトドアは楽しい！ 154





野外プログラムで遊ぼう

この本で紹介するのは、子どもたちに人気のある野外プログラムです。札幌に住む私たちの地域活動（ボーイスカウト）のなかで創りだし、また自ずと発展してきたプログラムですが、こういった子どもの野外での「遊び方」「遊ばせ方」を、まとめて紹介したものは意外と少ないように思います。

子ども会などで野外活動の世話を担当することになって、どうやって子どもたちを遊ばせたらよいのか、意外に苦慮されている人も多いのでは？ 私たちのプログラムとその運用の仕方が参考になるかもしれない、と思いたったのが、この本をまとめたきっかけです。楽しく遊べて学びや気づきも得られる欲張りなものを集めました。



私はまだ8年の活動ですが、子どもたちを楽しませ、自分も楽しみながら、さまざまなプログラムを実施してきました。子どもたちの反応は「楽しかった」とか、「もう1回やろう」とか、嬉しいときもある一方、「今回はあまりおもしろくなかった」と正直に言われてがっかりするなどいろいろです。

かつてはガキ大将がいて、小学生であれば、1年生から6年生までの年の違う子どもたちが大勢集まって遊んでいたものです。その中で子どもたちは自然に、社会性を身につけ鍛えられていきました。ですが、残念なことにはいまは同年代としか遊ばなくなっています。これは子どもたちに限ったことではなく、若い人たちにも共通しているかもしれません。気の合った数人でかたまっただけで、集団をつくらない傾向にあります。団体の中、群れの中の個人としての行動をし慣れていないように感じます。

私たちの地域活動では、いろいろな年代の子どもたちを集めて、集団で遊ばせていますが、子どもたちは集団に慣れないために、はじめはずいぶん戸惑いがあるようです。私たちの子ども集団は、通常5人か、6人の年齢の違う子どもたち



でグループをつくります。慣れてくると上級生がリーダーになって、集団を率いていくようになります。学校であれば、委員などになって自然にリーダーシップを発揮する子がいます。しかし、控えめでおとなしい子どももいますし、学校で誰もがリーダーになるというわけにはなかなかいきません。

でも私たちの野外活動の中では、おおげさに言えば下級生はいずれリーダーにならなければいけない宿命にあります。年下の子どもたちは、次は自分だと覚悟を決め、上級生から知らず知らずのうちに学んでいくのです。リーダー学習というのでしょうか、自然に覚えていきます。

小学校1年生のときは、おとなしくしているのかいないのかわからないくらいだったのが、6年生になったらクラスでリーダーシップを取るようになった子どももいます。

とはいえ、こういった活動の影響とか教育効果は、すぐ具体的には見えません。社会に出てから「そうだあのとき、こうだった」と思い出し、役に立ったり正しい判断をするのにつながることもあるのではと思います。



私たちもすぐ学習効果が出ることが期待しているわけではありません。長い目で、よき社会人を育てるというのが目的です。子どもたちの自発的な遊びの中から、社会的なマナーや、役に立つ技能や知識を徐々に自分たちで覚えていく、というのが基本方針なのです。

参加する子の親たちは、子どもがすぐにでも規律正しいまじめなよい子に変わるのではないかと、過大な期待をもつことがあります。しかしそれは、まず「面白い」といっていいでしょう。遊びの中で基本的な集団のルールやマナーは教えます。しかし、本当に常識的な部分だけです。基本的なしつけは家庭の仕事だと私は思っています。

私たちは、なるべく子どもたちが自分たちの考えでのびのびと遊べるような場所を、作ってあげようと思ってきました。その実践のプログラムが、少しでもみなさんの地域活動のお役に立つことがあればさいわいです。

※プログラムのなかでリーダーと呼んでいるのは、ボーイスカウトのおとなたちのことです。



☆春のプログララム☆

3月 * 芽吹きはもうすぐ

★ 犯人はおまえだ★

12

★ ふしぎ館へようこそ★

18

★ レスキュー隊出動★

22

4月 * ついに春が来た！

★ 木を植えよう★

25

5月 * ハイキング本番

★ ぼくらの森★

28

★ タケノコ採り★

32

☆☆☆ 春のプログラムのまとめ

36

3月 ＊ 芽吹きはもうすぐ

★ 犯人はおまえだ ★

春も間近い、でも北海道ではまだ雪の残っているこの時期。寒々しい野山の木にも新芽が見られ、動物たちの気配もします。さあ、早春の野山にハイキングに行きましょう。

札幌近郊の滝野すずらん丘陵公園では、雪の中を歩くためのスノーシューを無料で貸し出しています。北国の子どもたちでも、なれないスノーシュー

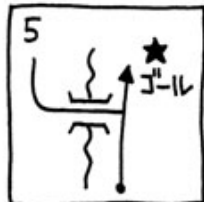
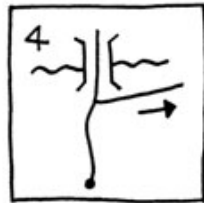
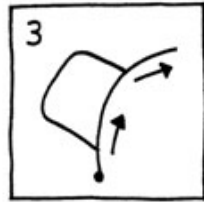
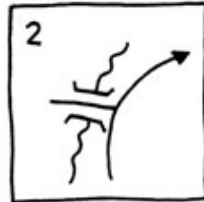
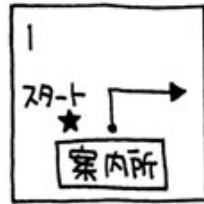
に悪戦苦闘します。

ただ歩きまわるだけでも、住んでいる地域の動物や植物を知れば、楽しさも倍増しますが、そこをもうひとひねり。今日の趣向は「犯人探し」。「冬の女王の招待状」を受け取って、女王を探すハイキングです。

私たちの冬の女王は、アシリベツの氷爆です。女王に会うためには、自然に対するさまざまな観察力が必要になります。



▼指令1 この図にしたがって犯人を追跡せよ



《プログラム》

女王からのメッセージは、わかりましたか？ この冬の女王からの手紙をもとに、宝物をうばった犯人を捜しながら歩きます。ポイントを書き込んだコマ図を配り、子どもたちは図を道しるべに冒険に旅立ちます。

▼指令1 追跡せよ

犯人が大切な宝物をうばった。諸君

は指令1のコマ図を見て、指令に従いながら犯人を追跡すること。

▼指令2 推理せよ

犯人はAの足跡とBの足跡を残している。二人組のようだ。諸君は、この足跡を探して追跡する。犯人は誰か推理するのだ。



▼ 指令 2

A の足跡



B の足跡



※ 「推理せよ」 のヒント (いろいろな動物の足跡)

キタキツネ



前足 後足

エゾユキウサギ



はつうに歩くとき

前足

後足



走るとき

エゾリス



前足
後足

エゾアハネズミ



前足

後足



▼指令3 探し出せ!

宝物はCの目印のところにかくした
ようだ。どこにあるのか、探し出せ!
そして、宝物はなにかを推理しよう。

※ヒント※ 秋にたくさんできるぞ。



◎まとめとポイント

札幌の滝野すずらん丘陵公園では、
公園の案内所でスノーシューを借りる
ことができます。

今回は「歩くスキーのコース」を歩
きますから、スキーヤーの迷惑になら
ないように、コースの横を気をつけて
歩きましょう。

雪のない地域やスノーシューがない
ところでも、近隣の丘陵や林で同じよ
うに自然観察の一日を設定することが
できるはずです。

● 滝野すずらん丘陵公園案内所

011-592-3333



▼ 指令3 「探し出せ！」のヒント

木の芽のいろいろ



ヤマウルシ



コブシ



ホノキ



ミズナラ



トチノキ



ニセ
アカシア



ハリギリ



ツルギノキ



ミズキ



シノキ



バッコヤナギ

途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。
途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

著者プロフィール

ふるや ゆういち

本名：降矢 勇一

1952年、北海道夕張市生まれ。

オールドサーベイ（資）代表。

ボーイスカウト日本連盟札幌第24団ベンチャー隊隊長。

NPO自然体験活動推進協議会（CONE）コーディネーター。

札幌発 くまさんのアウトドア日誌

2005年8月15日 電子出版発行

著者 ふるや ゆういち

発行者 瓜谷 綱延

発行所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060（編集）

03-5369-2299（販売）

<http://www.boon-gate.com>

© Yuichi Furuya 2005 Corded in Japan

ISBN4-8355-8642-5

（文芸社発行の通常書籍（紙の本）については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」サイト、<http://www.bungeisha.co.jp>を御参照ください。）

新 05.07.25 Y.H.